

(参考様式2) 社会資本総合整備計画(防災・安全交付金)

平成27年3月23日

計画の名称	1 稚内港における安全で利便性の高い通行の確保(防災・安全)			
計画の期間	平成24年度 ~ 平成28年度 (5年間)	交付対象	稚内市	
計画の目標				

- ・ふ頭間及び中心市街地を結ぶ臨港道路の整備により、人に優しい快適な動線を構築することで、北地区等を利用する市民や港湾利用者・観光客等の移動の利便性向上を図る。
- ・港内における船舶の安全な航行や安定した荷役作業を確保するため、外来漁船の係留施設不足を解消し、利用者の利便性向上を図る。

計画の成果目標 (定量的目標)

- ・道路整備を行うことにより、車両の安全で円滑な通行・快適な歩行空間の確保を行う。
- ・埠頭間を繋ぐ臨港道路の不陸や段差を解消し、スムーズで安全な通過交通を確保することが可能となるため、臨港道路の整備を行う。
- ・外来漁船の係留施設不足を解消するため、既設護岸を係留施設に改良する。

定量的指標の定義及び算定式

定量的指標の現況値及び目標値

備考

- | 当初現況値<br>(H24当初) | 中間目標値<br>(H26末) | 最終目標値<br>(H28末) |
|------------------|-----------------|-----------------|
| 0 %              | 40 %            | 68 %            |
| 0 %              | 100 %           | 100 %           |
| 0 %              | 0 %             | 100 %           |
- 1 港地区から、北ふ頭及び中央ふ頭へ繋がる臨港道路における、車両の安全な通行、快適な歩行空間を確保した延長が全体に占める割合を算出する。(移動円滑化された道路延長) / (整備計画延長(1,730m))
- 2 末広地区及び天北地区を繋ぐ臨港道路における車両の安全な通行を確保した延長が全体に占める割合を算出する。(不陸や段差が解消された道路延長) / (整備計画延長(1,900m))
- 3 外来漁船が安全係留可能となった延長が全体に占める割合を算出する。(安全係留可能となった施設延長(25m)) / (所要延長25m)

全体事業費

合計  
(A+B+C)

435.0百万円

A

435百万円

B

C

効果促進事業費の割合  
C / (A+B+C)

0.0%

交付対象事業

A 基幹事業													全体事業費 (百万円)	備考			
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	港湾種別	省略工種	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積・水深等)	港湾・地区名	事業実施期間 (年度)						
											H24	H25			H26	H27	H28
1-A-1	港湾	北海道	稚内市	直接	—	重要	改良	臨港道路改良(北地区臨海線・港地区副港通)	道路改良 L=1,730m	稚内港 北・港						300	
1-A-2	港湾	北海道	稚内市	直接	—	重要	改良	臨港道路改良(末広・天北地区臨港道路)	道路改良(不陸・段差) L=1,900m	稚内港 末広・天北						75	
1-A-3	港湾	北海道	稚内市	直接	—	重要	改良	係留施設整備(港地区物揚場(-3m))	物揚場(-3.0m) L=25m	稚内港 港						60	新規
											小計(港湾事業)					435	
											合計					435	
B 関連社会資本整備事業													全体事業費 (百万円)	備考			
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	港湾・地区名	事業実施期間 (年度)							
										H24	H25	H26			H27	H28	
											合計						
番号	一体的に実施することにより期待される効果												備考				
C 効果促進事業													全体事業費 (百万円)	備考			
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容	港湾・地区名	事業実施期間 (年度)							
										H24	H25	H26			H27	H28	
											合計						
番号													備考				

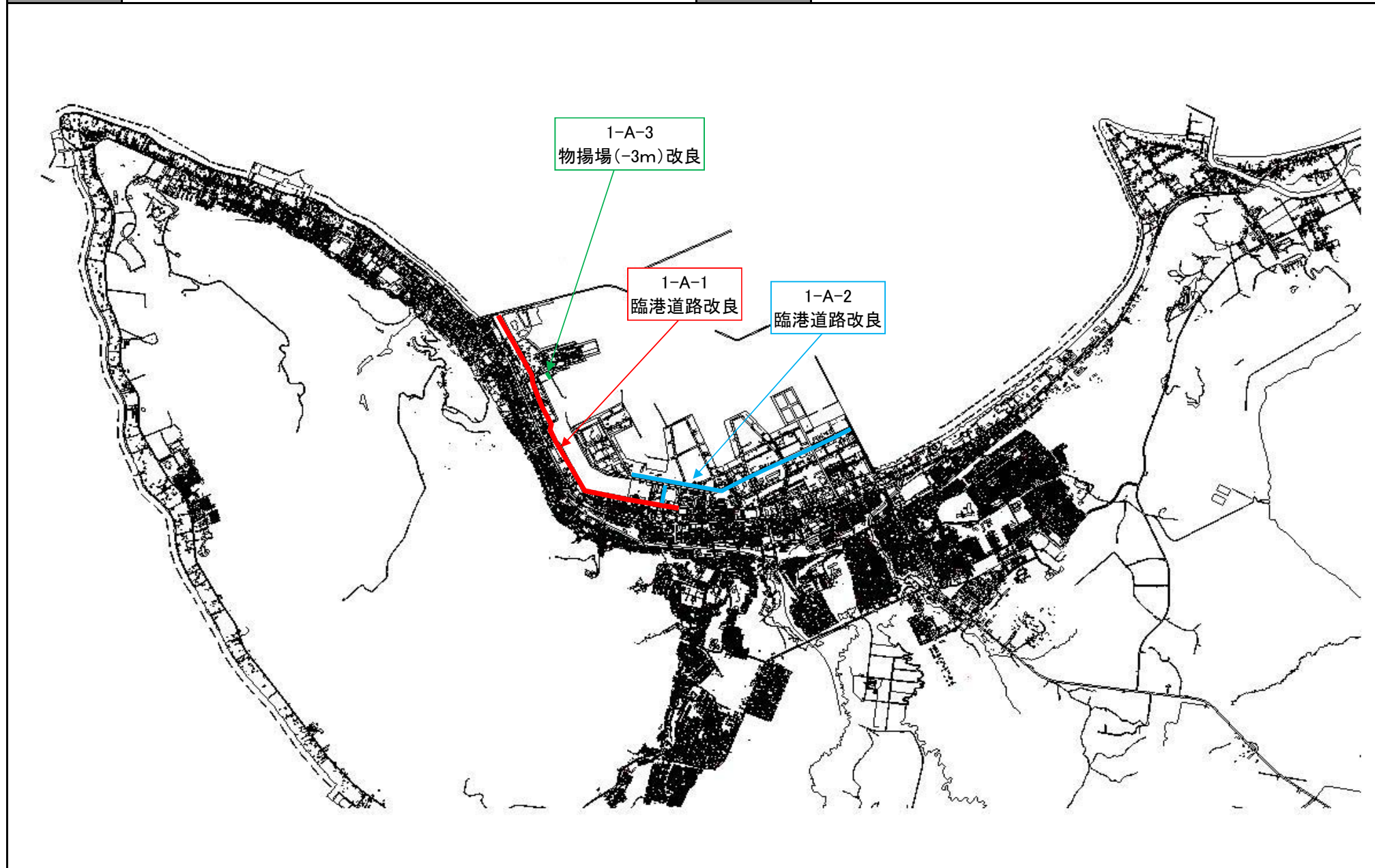
交付金の執行状況

(単位：百万円)

	H24	H25	H26	H27	H28
配分額 (a)	165	97	58	76	237
計画別流用 増△減額 (b)	0	0	0	0	0
交付額 (c=a+b)	165	97	58	76	237
前年度からの繰越額 (d)	0	0	0	0	0
支払済額 (e)	28	47	58	76	71
翌年度繰越額 (f)	137	50	0	0	166
うち未契約繰越額 (g)	0	0	0	0	0
不用額 (h = c+d-e-f)	0	0	0	0	0
未契約繰越＋不用率 (h = (g+h)/(c+d))	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
未契約繰越＋不用率が10%を超えている場合その理由					

(様式3) 社会資本総合整備計画(防災・安全交付金)

計画の名称	1 稚内港における安全で利便性の高い通行の確保(防災・安全)	交付対象	稚内市
計画の期間	平成24年度 ~ 平成28年度 (5年間)		



# 社会資本整備総合交付金チェックシート

計画の名称：稚内港における安全で利便性の高い通行の確保(防災・安全)

都道府県名：稚内市

チェック欄

I. 目標の妥当性	
①上位計画等との整合性	✓
②地域の課題への対応(地域の課題と整備計画の目標の整合性)	✓
II. 計画の効果・効率性	
①整備計画の目標と定量的指標の整合性	✓
②定量的指標の明瞭性	✓
③目標と事業内容の整合性	✓
④事業の効果(要素事業の相乗効果等)の見込みの妥当性	✓
III. 計画の実現可能性	
①円滑な事業執行の環境(事業熟度、住民等の合意形成等を踏まえた事業実施の確実性)	✓
②地元の機運(関連事業との連携等による事業効果発現の確実性)	✓